

市報やまぐち

2015

6/1

June

No.232

Web サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>
e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp



第28回全国健康福祉祭やまぐち大会
ねんりんピックおいでませ!山口2015
平成27年10月17日(土)～20日(火)



私たちだからできること
「すこやか長寿ボランティア」

小学生がはやしたて
阿東の「お田植えまつり」

P.2

私たちだから

できることと

「すこやか長寿ボランティア」



退職後の活動の場として

すこやか長寿ボランティアとして昨年からは活動しているのは、朝田在住の岡村せつ子さん。現役時代は全く違う職種の仕事をしていました。退職後、何もしないでいるのはつまらないと思っており、「自分にできることとして介護の仕事ならできるかも」と、市内の病院でヘルパー2級を勉強できる教室に通うことに。その後もっと勉強したいと思うようになり、介護福祉士の資格を取るため、61歳の時に山口芸術短期大学に入学し、卒業後パートとして介護の仕事に就きました。

しかし、環境が合わず1年半で退社。介護の活動を諦めよう。そう考えていた時に知ったのが、すこやか長寿ボランティアです。「社会のために自分にできること、自分ならできることは介護しかない。ボランティアとしては無理なくできるかも」と、迷うことなく登録されたそうです。「小さい頃から祖父母と接することが多く、年上の人と接する

全国的に高齢化率が高まっており、本市でも、市民の4人に1人が65歳以上の高齢者です。しかし、65歳以上の市民の約8割は介護を必要とせず、元気に生活しています。
そこで、65歳以上の元気な方がもっと元気にいきいきと過ごせるような活動の場の提供として「すこやか長寿ボランティア」を昨年から始めました。今回の特集では、すこやか長寿ボランティアについて、実際に活動している方を紹介しながらお伝えします。

問 介護保険課 ☎ 083・934・2805

すこやか長寿ボランティア

※登録方法等はお問い合わせください。

すこやか長寿ボランティアに登録後、介護保険施設（事業所）などでボランティア活動を行う。活動時間に応じてポイントが交付（30分1ポイント）され、ポイントを積み立てて、交付金や物品引換券に交換できる制度。

◆**対象者** 市内の65歳以上の方（第1号被保険者）

※要介護1～5の認定を受けた方は対象外

◆**受入機関** 本市に所在する介護保険施設、市が実施する地域支援事業（介護予防）実施場所等

◆**活動内容** 散歩、外出、施設内移動の補助、話し相手、傾聴、レクリエーション活動の補助、配膳、下膳、お茶だし等の食事介助の補助等

のは好きなんです。できる範囲で活動しようと思いました」と岡村さん。

自分の生活リズムに合わせて活動できる

岡村さんは、毎週月曜から木曜の10時から2時間、山口幸楽苑（平川）のショートステイで、利用者のお話を聞いたり、一緒に体操したり、食器洗いをしたりするなど、できる範囲で施設職員のお手伝いをしています。『昨日よりさらに元気になりましたね』『昨日の歌、お上手だったからもう一度聴かせてください』と、岡村さんは常に笑顔で、優しく利用者と接しています。

朝と夕方は、夫の見守り（要介護

1）が必要ですが、それ以外の空いている時間を有効に使いたいと考えていた岡村さん。今では介護ボランティア活動が生活の一つとなり、生活リズムが整っているとのこと。「すこやか長寿ボランティアの活動は、無理なく、自分の生活に合わせてできるのが良いです。また、保険もあるから、万が一自分がけがをした場合も、施設側に対応等をしてもらう必要がないなど迷惑をかけなくて良いので、心置きなく活動できます」と、すこやか長寿ボランティアの活動の良さを話されました。

社会のためにも

自分のためにもなる

岡村さんの活動を受け入れている山口幸楽苑ショートステイ主任の小林さんは「スタッフだけだと、利用者の方とゆっくり話をする時間がなかなか取れないのが現状です。でも、岡村さんが利用者の方とゆとりを持って接してくださるので、すごく助かっています。スタッフよりも年齢が近いので、話題の内容が合うのか、とても会話が弾んでいますし、利用者の方も楽しそうにしています」と、話されました。

「いつ自分が介護される側になるか分からないですが、この活動を通して将来の心構えができています。そういった面からも、同世代の方にこの活動はおすすめしたいです。い



岡村さん（左）と小林さん

つかは、地域にいる一人暮らしの高齢者を支えられるようになりたいです」と、岡村さんはいきいきとした笑顔で語られました。

5月7日時点で、すこやか長寿ボランティアの登録者数は146人。市では、登録者を随時募集しています。自分自身のためにも地域のためにもなるすこやか長寿ボランティアとして、活動されてみませんか。



check!

すこやか長寿ボランティアについては、広報番組C-cableテレビ「発見!やまぐちここのまちに愛たい」でもご紹介します。放送日…6月15日（月）～30日（火）



介護保険課
主事 溝部孝之

すこやか長寿ボランティアとして活躍いただくことで、ご自身の体の健康維持はもとより、お世話する側もされる側も、お互いが元気になる、心の健康にもつながるものと考えています。

昨年、登録者の皆さんに制度に関するアンケート調査を実施したところ、制度を通じたご自身の変化について「気持ちに張りが出てきた」「介護に関する知識や理解が深まった」といった回答を多くいただきました。また、活動をして良かったことについては、「感謝の言葉や笑顔など、元気がもらえた」とのお答えをいただきました。

さらに、登録者の8割以上の方から、制度についての良い評価をいただくとともに、今後も継続して活動することを望まれています。

岡村さんは介護の勉強をされていますが、市内在住の65歳以上の介護認定を受けていないお元気な高齢者の方であれば、どなたでも登録できます。

「すこやか長寿ボランティアでもっと元気にいきいきと」をキャッチフレーズに、今後も取り組みを進めていきます。皆さんの登録をお待ちしています。

第七次山口市高齢者保健福祉計画 第六次山口市介護保険事業計画の策定

問 高齢・障がい福祉課 ☎ 083-934-2758

基本施策

- 1 社会活動と生きがいづくりの推進**
①生きがい対策の推進 ②社会活動・ボランティア活動への参加促進 ③就労の促進
- 2 介護予防の推進**
①健康づくりの推進 ②介護予防対策の推進 ③介護予防・日常生活支援総合事業の体制整備
- 3 地域生活支援体制の推進**
①生活支援体制の推進 ②生活環境の整備 ③住まい対策の推進 ④地域における支援体制の整備
- 4 認知症対策の推進**
①早期診断・早期対応 ②地域の日常生活・家族への支援の強化
- 5 介護保険事業の推進**
①介護保険事業の運営 ②介護サービス施設の整備 ③介護保険の費用
- 6 地域包括ケアシステム推進体制の整備**
①地域支えあいの体制整備 ②地域包括支援センターの体制整備 ③在宅医療と介護の連携体制の充実

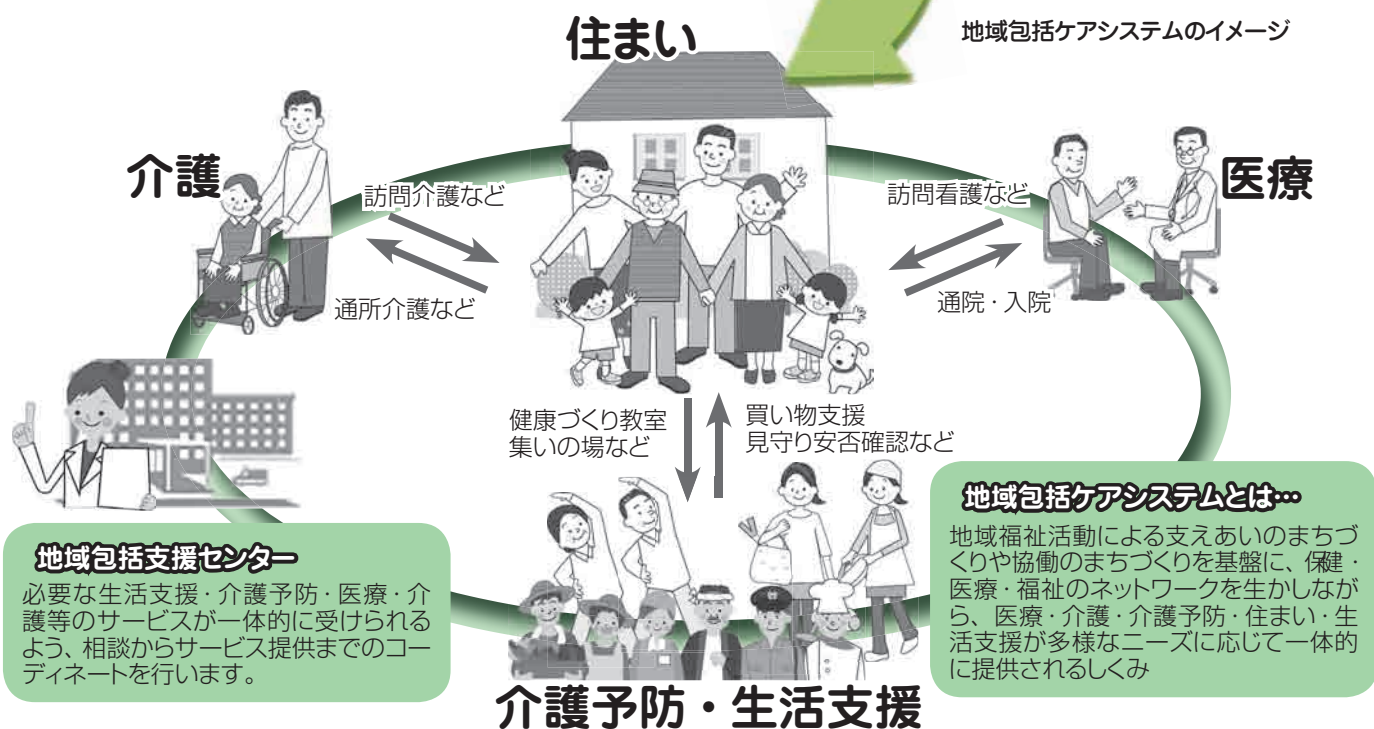
基本目標

地域包括ケアシステムの推進

基本理念

家族や地域の「絆」に支えられ、
高齢者が、自分らしく、元気に、
暮らし続けられるまち

本市は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域で高齢者を支えあうまちづくりを目指して、「第七次山口市高齢者保健福祉計画・第八次山口市介護保険事業計画」を策定しました。これは、地域の支えあいや多様なニーズに応じた支援体制の構築と、高齢者の生涯現役の実現を目指すものです。



※詳細はウェブサイトのほか、高齢・障がい福祉課、介護保険課、各総合サービス課、各地域交流センターで計画書をご覧ください。

介護保険料が変わります

介護保険課 ☎ 083-934-2795

「第六次山口市介護保険事業計画」の策定に伴い、本市の65歳以上の被保険者の方の介護保険料が右表の通り変わりましたのでお知らせします。

新しい介護保険料の特徴

保険料の上昇抑制

介護給付費準備基金を活用して介護保険料を引き下げました

段階区分の多段階化

所得段階を国の基準より3段階多い11段階に設定しました

低所得者へ配慮

所得の低い方（第1段階）の平成27・28年度の保険料率を軽減しました

【介護保険料納入通知書の発送は6月12日（金）】

平成27年度の介護保険料は、平成26年中（平成26年1月1日～平成26年12月31日）の収入や所得の状況、および本人と世帯員の平成27年度市町村民税の課税状況により決定し、納入通知書を6月12日（金）に発送します。

段階区分	対象者	保険料年額	保険料月額
第1段階	生活保護被保護者、世帯全員が市民税非課税の老齢福祉年金受給者、世帯全員が市民税非課税かつ本人年金収入等80万円以下	30,132円	2,511円
第2段階	世帯全員が市民税非課税かつ本人年金収入等80万円超120万円以下	50,220円	4,185円
第3段階	世帯全員が市民税非課税かつ本人年金収入等120万円超	50,220円	4,185円
第4段階	本人が市民税非課税（世帯に課税者がいる）かつ本人年金収入等80万円以下	60,264円	5,022円
第5段階（標準段階）	本人が市民税非課税（世帯に課税者がいる）かつ本人年金収入等80万円超	66,960円	5,580円
第6段階	本人が市民税課税かつ合計所得金額125万円未満	80,352円	6,696円
第7段階	本人が市民税課税かつ合計所得金額125万円以上190万円未満	87,048円	7,254円
第8段階	本人が市民税課税かつ合計所得金額190万円以上290万円未満	100,440円	8,370円
第9段階	本人が市民税課税かつ合計所得金額290万円以上350万円未満	107,136円	8,928円
第10段階	本人が市民税課税かつ合計所得金額350万円以上500万円未満	113,832円	9,486円
第11段階	本人が市民税課税かつ合計所得金額500万円以上	120,528円	10,044円

毎月第3金曜日は



ノーマイカーデー

27年度はノーマイカー宣言！



のるトクカード

特典
1

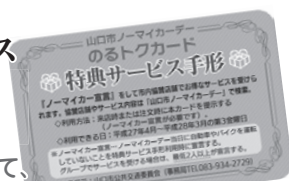
バス半額
手形



降りるときに提示をすると運賃が半額に！

特典
2

特典サービス
手形



「ノーマイカー宣言！」をして、協賛店舗でお得なサービスを受けよう！

今年度も4月から毎月第3金曜日に山口市ノーマイカーデーを実施しています。参加者には、お得な「山口市ノーマイカーデーのるトクカード」をお渡しします。参加対象は市内事業所・団体、市内在住の方、山口市に通学通勤している個人の方です。ぜひご参加ください。

のるトクカード

●利用できる日

平成28年3月までの第3金曜日

●利用できるバス会社

防長バス・中国JRバス・宇部市営バス・コミュニティバス・生活バス

※ご利用は現金に限りません。

※市内での乗車もしくは降車に限りません。（高速バスを除く）

※市外発着であっても乗車区間全部の運賃が半額になります。

お近くにバス停が無い場合、マイカーや自転車↓このマークが目印
車を組み合わせてバスを利用する方法があります。右のマークのある施設では、駐車や駐輪ができますのでぜひご利用ください。



●参加申し込み・問い合わせ 山口市公共交通委員会（交通政策課内） ☎ 083-934-2729

市政トピックス

■第20回中原中也賞贈呈式を開催

4月29日、湯田温泉ユウベルホテル松政で第20回中原中也賞贈呈式を開催し、約2000人の来場者のもと、詩集『グラフィティ』で受賞した岡本啓さんに賞状（陶板）と中也のブロンズ像、副賞を贈呈しました。

選考委員を代表し、佐々木幹郎氏は「とても初々しい作品である。言葉に対して真摯でありながら、しかしその中にある素朴さと鮮明さに心を打たれた。今回の受賞によって岡本さんが化けていつてくれると信じて決定した」と選評を述べられました。

また、市長は「言葉の一つ一つに、素直さと勢いのある新鮮な世界を深く感じた。これからも、精力的に詩作に励まれ、言葉の持つ心地よさを我々読み手に伝えていっていただきたい」とお祝いの言葉を述べました。

岡本さんは「ここ3〜4年で詩を書くようになり、自分が変わってきた実感がある。詩を真剣に書くことで、日常の言葉自体が真剣になっている。でも自分の



贈呈式の様子

中でつぶやくだけではどこか足りない、そう思っている

た時、今回より人の目につく場に出させていただいた。それがとても嬉しい。本当にありがたい機会と素晴らしい賞をいただいた」とあいさつされました。

贈呈式の後には「中原中也賞の20年―受賞詩人による記念シンポジウム」を開催。選考委員の佐々木氏司会のもと、メインパネリストに和合亮一氏（第4回受賞者）と三角みづ紀氏（第10回受賞者）、ゲストに10人の受賞詩人を迎え、中也賞の創設経緯をはじめ、受賞前後を振り返った体験談や中也賞に対する想いなどが話されました。また、受賞者のユーモア溢れる話に笑い声が聞かれるなど、会場は和やかな雰囲気になりました。

今後も中原中也賞を通じて、多くの皆さんに中原中也の詩の魅力はもとより、言葉による表現の楽しさに触れていただけるよう努めていきます。

問 文化政策課

☎0833・9344・2717



受賞詩集『グラフィティ』

■小型風力発電設備完成記念式典を開催

4月6日、リサイクルプラザ（大内駐車場）内に建設を進めていた小型風力発電設備が完成し、記念式典を開催しました。市長は「次代を担う子どもたちが、実際に見て、感じて、楽しく学習できる環境教育の場としたい」と述べました。

小型風力発電設備は、高さが地上14・4メートル、羽の直径が4・2メートルで、年間約3300キロワットアワー（約1世



小型風力発電設備

4月21日、山口総合支所で、第1回山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催しました。

これは、人口減少に正面から向き合い、「山口に住んでみたい、住み続けたい」と実感できる都市づくりに向けて、「（仮称）山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定および推進を図るために開催したもので、市民や産業界、大学など委員23人で組織しています。

市長は「地方創生の取組は、市民の皆様をはじめ、民間事業者の皆様、行政が知恵を結集し、オール山口市として総合

■まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を初開催

力、実行力を発揮しななければならない。委員の皆様には、積極的かつ大胆な提案等をいただきたい」と挨拶しました。

今後、本会議等で議論を重ね、秋までに総合戦略を策定する予定です。



会議の様子

問 企画経営課

☎0833・9344・2782

問 環境政策課

☎0833・9411・2181

帯分）を発電することができます。周辺では、清掃工場の廃棄物発電や余熱利用、不燃物中間処理センターの太陽光発電も行っており、今回の風力発電を加え「再生可能エネルギー学習エリア」として小学生等の環境学習に活用していきます。

市では、今後も再生可能エネルギーの普及やごみの減量に努め、地球温暖化防止や省エネなど環境負荷の少ないまちづくりを進めていきます。

総合教育会議を初開催

4月23日、第1回山口市総合教育会議を開催しました。

これは、平成27年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、地方公共団体に設置することが義務づけられたもので、教育の課題やあるべき姿を共有するため、市長と教育委員会が幅広く意見交換を行う会議です。

市長は「教育委員会との自由な意見交換により、さらに連携を深め、さまざまな施策についてスピード感をもって取り組んでいく」と述べました。

会議では、平成26年3月に策定した「山口市教育振興基本計画」を本市の教育に関する大綱とすることで合意しました。また、本年度の重点施策について、

やまぐちサッカー交流広場5周年記念事業を開催

5月3日、オープ

ン5周年を迎えたやまぐちサッカー交流広場（徳地）で、「山口市誕生10周年記念事業・やまぐちサッカー交流広場5周年記念事業」を開催しました。



記念式典の様子

当日は、小学生、高校生、シニアのチームが、水はけの良い人工芝のサッカー場で元気よくプレーされました。また、レノファ山口の選手によるサッカー教室や地域特産品の販売を通じた交流イベント

設置率100%の全国トップ水準にあるコミュニティスクールのさらなる充実、

年度内に100%を達成する予定の学校施設の耐震化、小

学校の全学級に教員用タブレット端末を導入するICT教育の環境づくりについて意見交換を行いました。



会議の様子

市では今後も、「教育なら山口」と思っていただけのような教育環境づくりを進めていきます。

問 教育総務課

☎ 0833-934-2855

なども開催されました。

記念式典で市長は「県内外から幅広い年代の皆様にご利用いただき、また地域の皆様の協力により交流拠点としての大きな役割を果たしている。これからも中山間地域の活性化につながるモデル的な施設として、多くの皆様に愛されるよう努めていく」と述べました。

市では、今後も多くの方がスポーツに関心を持ち、さまざまな形で親しんでいただける環境づくりに取り組んでいきます。

問 生涯学習・スポーツ振興課

☎ 0833-934-2873

近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。

宇部市

しょうぶまつり

今年1月に「池坊花逍遥100選」に認定されたしょうぶ苑には、150種8万株のハナショウブが咲き誇ります。

■日時 6月14日（日）10時～16時

■場所 ときわ公園しょうぶ苑周辺園路ほか

■内容 お茶席（先着500人、1席300円）、屋台村、ハナショウブの苗を販売（先着約300株、1株500円）、栽培相談

■問い合わせ 宇部市常盤公園管理課

☎ 0836-54-0551



防府市

家庭の日親子ふれあいイベント

大平山山頂公園で、山口短期大学（プロジェクトチーム“ちゃすむんき〜”）との協働により、親子のふれあいイベントを開催します。

■日時 6月21日（日）

午前の部 10時30分～12時

午後の部 13時～14時30分

■場所 大平山山頂公園

晴れの場合：芝生広場など

雨天の場合：展望室

■内容

- ・紙ひこうき王はだれだ！！
- ・飛ばしてあそぼうシャボン玉
- ・不思議な触りごちちにぎにぎ

※荒天のときは、イベントを中止する場合があります。

※ロープウェイは、運行をしていません。大平山山頂へは車でお越しください。なお、山頂には無料の駐車場があります。

■対象 どなたでも

■問い合わせ 防府市生涯学習課

☎ 0835-23-3015

市内の魅力を紹介します。

山口市

山口の「いいモノ」あります

山口市の特産品や工芸品などの山口らしさあふれる商品を紹介するパンフレット「おみやげぼん。」が新しくなりました。市内道の駅や観光案内所などに置いてある「おみやげぼん。」を片手に、山口市のいいモノを探しに出かけてみませんか。



【シールラリー実施中！】

対象店舗の商品購入時にもらえるシールを、5枚集めて応募すると、抽選で秋穂産活き車えびなど市内の特産品がもらえます。抽選の結果は、3月下旬に「山口市物産事業者連絡協議会」のFacebookで発表します。

■応募期限 平成28年3月10日（木）

■問い合わせ 山口市物産事業者連絡協議会（商工振興課内）☎ 083-934-2812

お知らせ

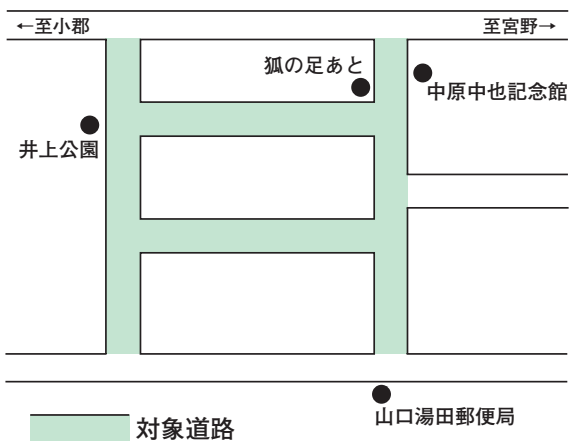
湯田温泉回遊促進事業補助金

湯田温泉の回遊促進を図るため、「狐の足あと」周辺の空き店舗に出店する事業者、出店経費の一部を補助します。

募集期間 6月1日(月)～30日(火)

対象者 小売業、飲食業、サービス業等で、湯田温泉の回遊性向上につながる営業を日中行う者

対象店舗 左図の対象道路に面した店舗(一階部分)



補助内容 出店に係る店舗改装費・設備費の2分の1(限度額150万円)

※若者、女性の場合は、限度額が30万円加算されます。

申請 山口商工会議所 ☎083・925・2300

市内産木材を利用して家を建てる方を支援します

市内で生産された木材を一定量以上使用し、住宅の新築・改築・増築を行われる方へ建築費の一部を補助します。



補助額 上限50万円

申請 農林政策課 ☎083・934・20019

親子で楽しむピザ焼き教室

生地からソースまで手作りのオリジナルピザを金で焼き上げます。

日時 6月27日(土) 10時～13時

定員 先着10組
参加費 一組2000円(ピザ2枚分の費用含む)
持参品 エプロン、三角巾、タオル、軍手等
所申請 6月24日(水)までに、ふれあいパーク大原湖(徳地野谷605) ☎FAX 0835・58・0200

野田神社能楽堂 堂内特別公開



野田神社能楽堂

西日本屈指の野外能楽堂、野田神社能楽堂にて、その美しさと舞台裏の歴史を体感できる、堂内特別公開を行います。

明治維新を成し遂げた毛利敬親公・元徳公を祀る野田神社の境内にある能楽堂は、市の有形文化財にも指定されています。

この日は特別に、普段は上がることのできない舞台や舞台の下、楽屋など、解説付きでご案内します。(完全予約制)

期日 6月21日(日)

時間 10時、11時、13時、14時
場所 野田神社能楽堂(天花二丁目1・2)
定員 各時間30人
料金 500円(靴下代、資料代)
参加条件 文化財保護の観点より、事務局の用意した靴下を着用し、しのび足での入堂をお願いします。
申請 山口観光コンベンション協会 ☎083・933・0088

10周年ミニひなもん展



阿知須で「ひなもん」が定着して10年になります。

このたび10周年を節目に、これまでの作品の展示・公開と、ひなもんづくりミニ体験教室(要事前予約)を行います。

期間 6月19日(金)～21日(日)

※水・木曜休館
入館料 無料

所問 阿知須「いぐらの館」(阿知須3425) ☎0836・65・2403

平成 27 年春の叙勲および第 24 回危険業務従事者叙勲受章者

■問い合わせ 職員課 ☎083-934-2727

春の叙勲および危険業務従事者叙勲を、市内の 23 人の方が受章されました。受章された方は次の通りです。

※()内は功績、年齢、主要経歴(敬称略)

旭日双光章

砂川敏男 (建設業振興功労 76 元 県建設業協会副会長)

瑞宝小綬章

東 邦郎 (地方自治功労 70 元 県水産部長)

伊藤俊昭 (地方自治功労 70 元 県商工労働部長)

綿鍋 淳 (教育功労 71 元 公立高等学校長)

瑞宝双光章

大隅博志 (消防功労 75 元 市消防団団長)

河田和子 (学校保健功労 80 元 学校薬剤師)

山本嘉男 (教育功労 77 元 公立中学校長)

青木 征 (警察功労 71 元 県警部)

香川博通 (警察功労 71 元 警視正)

河村廣海 (警察功労 71 元 県警部)

中川治泰 (警察功労 70 元 県警視)

西村義和 (防衛功労 61 元 2 等陸尉)

山田明生 (警察功労 71 元 県警視)

山本信之 (警察功労 71 元 警視正)

湯原和男 (警察功労 71 元 県警部)

吉村正義 (警察功労 71 元 県警視)

瑞宝単光章

長尾正一 (消防功労 80 元 阿知須町消防団分団長)

牛尾 勤 (防衛功労 67 元 准陸尉)

奥野孝明 (防衛功労 66 元 准陸尉)

助藤浩二 (防衛功労 61 元 3 等陸尉)

瀬川光男 (防衛功労 61 元 3 等陸尉)

高山隆夫 (警察功労 71 元 県警部補)

濱崎裕兒 (防衛功労 61 元 3 等陸尉)

山口市職員採用試験【大学卒業程度】

■採用予定日

平成 28 年 4 月 1 日

■第 1 次試験

期日 7 月 26 日 (日)

場所 山口総合支所 (亀山町 2-1)

■受付期間

6 月 1 日 (月) ~ 22 日 (月・消印有効)

■受験申込書の請求

受験申込書は、各総合支所・地域交流センターに備え付け。郵便で請求する場合は、封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、宛先明記の返信用封筒 (角形 2 号〈A 4〉) に 140 円切手を貼り同封してください。

※受験資格等、詳細はウェブサイトを確認、または職員課にお問い合わせください。

■申し込み・問い合わせ

職員課 (〒753-8650 亀山町 2-1)

☎083-934-2727

試験職種	採用予定 人 員	受験資格
行政	6 人程度	昭和 61 年 4 月 2 日から平成 6 年 4 月 1 日までに生まれた人で、学校教育法に規定する大学 (短期大学を除く) およびこれらと同等と認められる学校を卒業した人もしくは平成 28 年 3 月末までに卒業見込みの人
土木	4 人程度	
建築	1 人程度	
電気	2 人程度	<下記の①②のいずれかを満たす人> ①昭和 61 年 4 月 2 日から平成 6 年 4 月 1 日までに生まれた人で、学校教育法に規定する大学 (短期大学を除く) またはこれと同等と認められる学校を卒業した人もしくは平成 28 年 3 月末までに卒業見込みの人で、試験職種の学科・課程等を修めた人 ②昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた人で、電気工作物の保安業務に 5 年以上従事した実務経験を有する人

※試験職種のうち保健師については、9 月 20 日 (日) に実施予定です。
詳細は、市報 7 月 15 日号およびウェブサイトに掲載予定です。

ゆだ 湯田

人口: 12,583 人 (H27.4.30 時点)
山陽路随一の湯量を誇るといわれる湯田温泉を有し、広域観光の拠点となっている。面積は市内21地域で最も狭く、人口密度は最も高い。

住民主体の防犯パトロール活動

週末金曜の夜。湯田の繁華街にそろいの服に身をつつんだ集団が、懐中電灯を照らしながら歩く。地元の子ども会の役員、小・中学校関係者、消防団、旅館組合など顔ぶれはさまざまである。「こんばんは」。声をかけると、ほろ酔い男性が「いつもご苦労さん」と笑顔で返した。毎月2回行われているこの防犯パトロール活動の始まりは、平成13年にさかのぼる。

当時、井上公園周辺での若者の深夜徘徊や悪質な客引き、違法駐車が増加など、湯田地域の治安は悪化の一途をたどっていた。これに危機感を抱いた湯田地区連合自治会をはじめとする11の地域団体が、市と警察に働きかけ設立されたのが「湯田セフティネットワーク」である。今では数多くある、住民と行政、警察が連携した県内初の地域防犯組織の誕生である。

パトロールは湯田地域交流センターを拠点とし、繁華街、公園、ゲー

ムセンター等への立ち寄り時間を約1時間かけて行う。通行人や若者への声かけの他、ゴミ



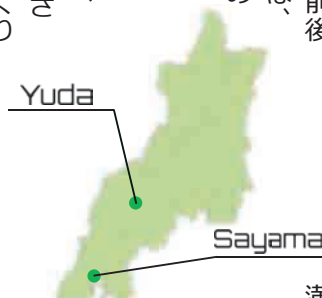
拾いや風俗ビラの撤去を行い、住民の不安解消はもとより、観光地としての環境改善にも多大な貢献をしてきた。設立当初10人前後で行っていたパトロールは、

常時20人以上に増加。この地道な活動が功を奏し、湯田地域の犯罪件数は、設立

時の3分の2にまで減少した。また、平成25年には、10年あまりの活動が評価さ

れ、「安全・安心なまちづくり関係功労者表彰」で内閣総理大臣表彰を受賞することとなった。

防犯パトロール活動を通して地域団体が相互に協力しあう。自分たちのまちは自分たちで守り、安心して暮らせるまちづくりを行うことは、犯罪抑制力の回復はもちろん、地域の連帯感につながる。市民である我々や観光に訪れる人々が、安心して楽しめる湯田ブランドは、こういった地域の連携した自主的な取り組みによりつくられているのである。



教訓を生かした組織づくり

昭和17年8月27日深夜。大潮で満潮という最悪の状況の中、台風により発生した高潮が山口県を襲った。県内に甚大な被害をもたらした周防灘台風だ。佐山地域では44人の方が亡くなった。この時の教訓が佐山地域には今も根付いている。

平成18年、市が自主防災組織の立ち上げを地域に呼びかけると、佐山地域は地域単位としては市内で一番最初に自主防災組織を立ち上げた。同時に、



社会福祉協議会が中心となり、災害時に避難支援が必要となる世帯の調査に乗り出した。災害時の

さやま 佐山

人口: 2,848 人 (H27.4.30 時点)
市南部に位置し、山口湾に向かって田園地帯が広がっている。また、佐山西部にはユニクロの本社をはじめ、産業団地が広がっている。

支援が必要な方への支援については、平成18年に国がガイドラインを示し、各自治体で整備することとしていたが、個人情報取り扱いがネックとなり、全国でも作成が進んでいない地域が多かった。しかし佐山地域は、短期間にほぼ全ての対象世帯から同意を得てマップを完成した。しかも、マップの情報は毎年調査して更新し、防災訓練で検証するなど、より実効性が高いものとなっている。今では佐山の手法を学ぼうと、全国から視察が絶えない。

次世代への防災教育

佐山地域では小学校4年生を対象に防災教室を行っている。災害時、どこへ避難するのか、障がいのある方とどうコミュニケーションをすべきかなど、体験学習させている。また、これまで地域と小学校それぞれで行っていた運動会を、学校と話し合い1つの運動会にした。担架リレーや土嚢作りリレーなど、親子で参加できる防災に関する種目を、市内でもいち早く取り入れるなど、地域をあげて、子どもへの頃からの防災教育に努めている。

佐山地域のブランド、それは地域に脈々と伝わるマインドにあるようだ。



朝ご飯に おすすめ!

小・中学生が考えた「第9回ぼく・わたしのお料理コンクール」の入賞作品をご紹介します。(学年は受賞時)

☎ 健康増進課 ☎ 083-921-2666

工夫したところ

忙しい朝に短時間でできるよう、だしのとり方を工夫し、材料はすべて切るだけのものを使用した。トマトの酸味が気になれば、牛乳を少量加えるとマイルドになる。



白石中1年
まさかほ
正上 佳歩さん

夏バテ防止の “元気になる” みそ汁

材料(4人分)

だし汁 800ml
(昆布と煮干しの合わせだし)
トマト 2個
豚肉 200g
(しゃぶしゃぶ用)
もやし 100g (1/2袋)
大葉 4枚
みそ 60g

作り方

- ① トマト…くし形切り／豚肉…食べやすい大きさに切る／もやし…ざるに入れて水洗い／大葉…せん切り
- ② だし汁を煮立て、豚肉、トマト、もやしの順に入れ、2～3分煮る。
- ③ みそを②の汁で溶き、鍋に入れる。
- ④ お椀に盛ったら、大葉を散らして完成。



朝パワむすび

作り方

- ① きゅうりを縦にピーラーで薄く切り、軽く塩をふっておく。
- ② 卵を割りほぐし、砂糖と塩を入れ、混ぜておく。
- ③ フライパンにサラダ油をひき、②を流し入れていり卵を作る。
- ④ ごはんに赤しそふりかけ、しらす干し、③を入れて混ぜ合わせる。
- ⑤ ④で三角おにぎりを作り、①のきゅうりを巻いて完成。

材料(4人分・8個分)

ごはん 米2合分※
(きゅうり 40g
塩 少々
卵 4個
砂糖 4g
塩 少々
サラダ油 適量
赤しそふりかけ 4g
しらす干し 20g
※ごはん約660g

工夫したところ

ゆかりむすびが好きでよく食べるけど、いり卵でたんぱく質、しらす干しでカルシウムをプラスし、きゅうりを巻くことで野菜もとれるようにした。



阿知須小5年
あべ ゆうと
安部 悠人さん

表紙写真から

小学生がはやしたて

阿東の「お田植えまつり」

「あら、そんなに泥だらけにして、洗濯が大変でしょ」なんて、お母さんの嘆きが聞こえてきそうですが、ここではそんな心配は無用です。泥んこ姿は勝者の勲章。表紙の写真は、5月17日に阿東徳佐で行われたお田植えまつりの一つ「泥んこフラッグ」での「コマです。優勝したのは、2年連続で地元の小学生でした。」

お田植



えまつりは、地元のは、伝統芸の伝承を継承しようと
するはやした保存会と、阿東地域を活性化したいという商工会青年部との合同企画で、4年前から始まったものです。

楽しそうなイベントだなと思いついたに出かけたのですが、歓喜に沸く会場の一方で聞かれたのは「阿東では年々子どもが減っている。どうしたものか」という嘆きでした。しかし、大人たちの愛情を一身に受け生き生きとした表情の子どもたちを見ると、心が洗われ、爽やかな気分になりました。

問い合わせ 広報広聴課

☎ 083・934・2753

6月7月 イベントカレンダー

景観写真コンテストから「学園ビオトープ」



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日
(曜日)

イベント名(開催地域)
問い合わせ先(電話番号)

企画展Ⅰ「中原中也賞の20年」
(～7月26日) (湯田)
中原中也記念館
(☎ 083-932-6430)



土星を見る会(～7日) (白石)
県立山口博物館
(☎ 083-922-0294)

あじさい日和(～7月12日) (徳地)
重源の郷 (☎ 0835-52-1250)



菜香亭市民ギャラリー「クレイアート 癒しの空間で、豊かな心を育む山口」(～15日) (大殿)
山口市菜香亭 (☎ 083-934-3312)

26
(金)

田舎のじ～じ・ば～ば人形展
(～28日) (阿知須)
阿知須「いぐらの館」
(☎ 0836-65-2403)

山口ふるさと伝承総合センター
七夕飾り(～8月7日) (大殿)
山口ふるさと伝承総合センター
(☎ 083-928-3333)



7/1
(水)

レノファ山口FC
県内の試合日程



6月14日(日) 13時から下関陸上競技場
VS FC町田ゼルビア(東京都)

6月20日(土) 18時から維新公園
VS Y.S.C.C横浜(神奈川県)

※試合観戦には入場料が必要です。

問レノファ山口FC ☎ 083-941-6792



初夏の風物詩 螢 を楽しもう！

6/6
(土)

四十八瀬川ほたる祭り
所 小郡上郷新町西公民館
問 四十八瀬川ほたる祭り
実行委員会
(☎ 083-972-6314)

6/13
(土)

宮野ホテルまつり
所 山口ふれあい館
問 宮野ホテルまつり協賛会
(☎ 083-928-0250)

6/7
(日) まで

ほたる観賞Week!
所 一の坂川周辺
問 観光課
(☎ 083-934-2810)

ホテルのタペin串

所 徳地串
問 徳地地域交流センター
串分館
(☎ 0835-54-0222)

市民の皆様には「山口市防災ガイドブック」をお配りしていますので、今一度、近くにご覧いただき、浸水が想定される区域がないか、最寄りの避難所はどこかなどをご確認いただきたいと思います。

自然災害は、いつどこで発生するか、正確な予測はまだまだ困難です。皆様には、防災情報や気象情報などをしっかり把握していただき、災害に十分に備えていただきたいと思います。

山口市長 渡辺純也



梅雨の季節となり、空を見上げることが多くなりました。やはり梅雨の雨は、少しづつとつしいものですが、農作物や植物にとっては「水の恵み」をもたらす大切なものです。

しかし、最近では、梅雨前線などによる豪雨が、私たちに「水の災い」をもたらすことが増えています。

本市では、平成21年の小鯖地域、そして、一昨年の阿東地域等での豪雨災害により、大きな被害が発生しました。今や、こうした集中豪雨や土砂災害の発生は、市内のこの地域においても起こり得るものであり、決して油断できないものとなっています。

この広報紙は再生紙を使用しています。
使い終わったら、「新聞紙」として
古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 6月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎ 083-922-4111 (代表) / 印刷 株式会社マルニ